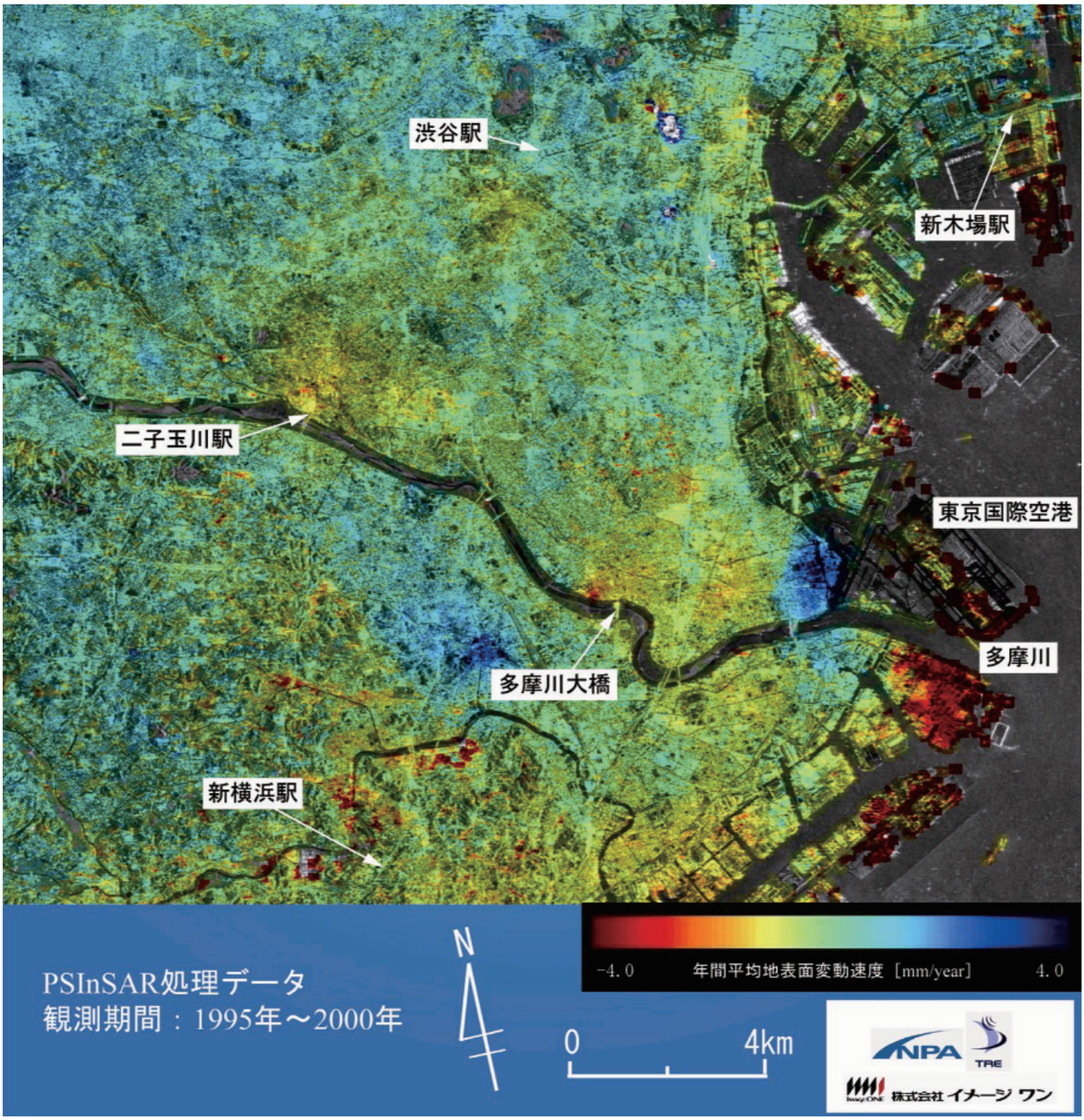
PSInSAR技術による地表面変動の計測（1）－多摩川周辺－

データ提供：株式会社イメージワン
データ編集：東京理科大学･国土情報工学研究会

本誌86号からインターフェロメトリ技術（Interferometric SAR：InSAR）による地表面変動の計測事例を紹介しています。下図は1995年～2000年の間に観測されたSARデータ（人工衛星ERS1号、2号観測）を用い、PSInSAR(Permanent Scatterers InSAR)処理を通して計算した「年間平均地表面変動速度（mm／year)」を表しています。対象領域は、関東南部の多摩川周辺です。地盤が沈下傾向にある領域は、赤色系～黄色系に発色しています。PSInSAR技術は、広域にわたって地盤沈下傾向の調査・分析に役立つことは言うまでもありませんが、都市管理情報の一つとして、PSInSAR技術から得られる情報の管理・運用面については今後の研究・開発に委ねられます。